

日本NIE学会会報

第25号

[発行所] 日本NIE学会事務局 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 朝倉淳研究室内
TEL/FAX 082-424-7130 E-mail: aasakura@hiroshima-u.ac.jp

日本NIE学会第10回愛知大会のご案内(第2次案内)

主催：日本NIE学会
共催：愛知教育大学社会科教育学会
後援：愛知県NIE推進協議会・国立大学法人愛知教育大学

日本NIE学会会長
小原 友行
大会実行委員長
船尾 日出志

- 1 期日 平成25(2013)年11月23(土)～24(日)
- 2 会場 国立大学法人愛知教育大学附属名古屋中学校(砂田橋駅1番出口)
学校法人名古屋学院・名古屋中学校・高等学校(砂田橋駅3番出口)
いずれも名古屋市営地下鉄名城線砂田橋駅から徒歩1分
- 3 参加費 大会 一般 2,500円(当日3,000円) 学生・院生 1,000円
懇親会 5,000円

4 日程

○11月23日(土)

11:30	12:45	13:30	15:20	15:50	17:10	18:15	18:30	20:00
理事会	受付	シンポジウム 「真価問われるデジタル時代のNIE-価値ある情報を教育に-」	休憩	ラウンドテーブル [シンポジウムを受けて参加者がグループで意見交換します]	総会	移動		懇親会

11:30-12:30 理事会

※午前中、愛知教育大学附属名古屋中学校は学校公開日のため授業を公開中です。参観可能です。

○11月24日(日)

8:30	9:00	12:40
受付	自由研究発表 NIEワークショップ	

※午後から徳川美術館・徳川園見学会(昼食付き)あります。

11月23日(土)

12:45~13:30 受付(名古屋学院・名古屋中学校・高等学校 1階 エントランスホール)
(理事会 11:30~12:30 愛知教育大学附属名古屋中学校 3階 国際理解室)

13:30~15:20 シンポジウム(名古屋中学校・高等学校 チャペル)

「真価問われるデジタル時代のNIE－価値ある情報を教育に－」

「開会挨拶」 船尾 日出志(大会実行委員長・愛知教育大学)
シンポジスト 大谷 昭宏(ジャーナリスト・テレビコメンテーター)
シンポジスト 羽田 潤(兵庫教育大学)
シンポジスト 春香 クリスティーン(タレント)
シンポジスト 市川 正孝(愛知教育大学)
指定討論者 柳澤 伸司(立命館大学)
総括 小原 友行(広島大学)
司会 土屋 武志(愛知教育大学)

【シンポジウムの趣旨】

- ・震災・原発・いじめ・体罰など社会的課題に立ち向かい未来を拓く人間を育成するため、新聞はどのような役割を果たすか。
- ・紙かネットかでゆれる新聞はどのように変化するか。それを学校でどう活用するか。
- ・以上の課題にNIE学会はどのように関わっていくか。特に若い実践者をどう育てるか。

15:50~17:10 ラウンドテーブル(名古屋中学校・高等学校 敬愛ホール及びランチルーム)

◎シンポジウムを受けて参加者がグループで意見交換します。

次の9テーブルを予定しています。参加者の状況により変更する場合があります。
大会ホームページ及び当日の案内でご確認下さい。当日参加も可能です。

- | | | |
|--------------|----------|---------|
| ①震災をめぐる教育と報道 | ②小学校 | ③中学校 |
| ④高校 | ⑤国語科 | ⑥社会科 |
| ⑦総合・生活科 | ⑧ICTとNIE | ⑨新聞とESD |

17:15~18:15 総会(名古屋中学校・高等学校 2階視聴覚教室)

18:30~20:00 懇親会(会場近くのレストラン・フォリオで開催・立食)

多くの方と情報交換できます。

参加費 5,000円

イタリアンフォリオ 名古屋市東区砂田橋1-1-1(052-723-2511)

11月24日(日)

- 8:30～9:00 受付(名古屋学院・名古屋中学校・高等学校 1階 エントランスホール)
 9:00～12:40 自由研究発表(1発表20分+質疑10分)、NIEワークショップ 同時開催

【第1分科会】第1会議室(1階)

司会：阪根 健二(鳴門教育大学)・三原 貫司(岐阜市立岐阜小学校)

- ①表現素材としての新聞-12年度の講義「新聞を読む」の実践を通して-
 樋口 克次(大阪経済大学)
- ②新聞社説15紙比較-中学3年国語科の授業実践-
 村山 正子(神奈川県相模原市立鶴野森中学校)
 三上 久代(札幌市立平岡中央中学校)
- ③学校図書館を活用したNIE-小論文指導の実践報告-
 伊吹侑希子(京都学園中学高等学校)
- ④『朝NIE』で育む力と社会を見る目
 岡本 光子(兵庫県伊丹市立笹原中学校)
- ⑤大学の社会福祉教育に関する一考察①-保育学科を中心に-
 今井 慶宗(奈良保育学院)・松井 圭三(中国短期大学)
- ⑥学びを広げ、深める新聞活用授業の展開
 -教職3年目以下の若手教員研修を通じて(第2年次)-
 田沼 正一(群馬県伊勢崎市立豊受小学校)
- ⑦中高国語科におけるNIEの評価規準の試み
 稲井 達也(日本女子体育大学)

【第2分科会】第2実習室(1階)

司会：平石 隆敏(京都教育大学)・臼井 淑子(横須賀市立田戸小学校)

- ①言語活動を取り入れた新聞活用学習-NIE活動を通して人を見つめ心を見つめて-
 豊田 久晴(愛知県あま市立七宝北中学校)
- ②社会形成力育成を目指すNIE学習(2)
 -『いっしょに読もう!新聞コンクール』の取り組みと分析-
 柴田 康弘(福岡県飯塚市立穂波西中学校)
- ③新聞で“知の素っぴん力”を磨こう-テーマ別・対象別の紙面展開へ-
 越地真一郎(熊本日日新聞社・熊本大学)
- ④小学校におけるNIE教育のすそ野を広げるために-教員免許更新講習を通して-
 中田 正浩(学校法人奈良学園)
- ⑤新聞記事を介してコミュニケーションを活性化させる教育方法に関する研究
 熊本 喬(大阪府羽曳野市立恵我之荘小学校)・森田 英嗣(大阪教育大学)
- ⑥大学FD活動におけるNIE展開-大学NIE普及に向けた一試行-
 勝田 吉彰(関西福祉大学)
- ⑦定時制高校における新聞利用の可能性
 鍛冶 直紀(大阪府立和泉高等学校)

【第3分科会】 第3会議室（1階）

司会：城島 徹（日本新聞協会）・鈴木 健二（愛知教育大学）

- ①NIEを活用した市民性教育の展開
小橋 一久（河合塾）
- ②社会科教育における共感力を高めるNIE教材
－「路上で消臭 生きるため」を用いた授業実践の分析を通して－
松井 克行（西九州大学）
- ③郷土を愛する態度を養う新聞活用学習
－小学校第3学年における社会科・総合的な学習の時間の授業実践を通して－
田野辺浩一（鹿児島県霧島市立日当山小学校）
- ④New York Timesを活用した大学院社会科授業実践
真島 聖子（愛知教育大学）・小塚 良孝（愛知教育大学）
- ⑤NIEとキャリア教育－『人はどうして働くのか?』を新聞記事から考える
金子 幹夫（神奈川県立平塚農業高等学校）
- ⑥NIEを通じての【労働】の尊さ・大切さ
山西 敏博（小山工業高等専門学校）

【第4分科会】 視聴覚教室（2階）

司会：重松 克也（横浜国立大学）・伊藤 達也（名古屋市立昭和橋中学校）

- ①ICTを利活用したNIEの実践と展望
光武 正夫（佐賀県唐津市鬼塚中学校）
- ②技術者倫理教育における新聞を用いた教育の意義と課題
空 健太（岐阜工業高等専門学校）
- ③英文記事利用の授業実践
後藤 隆昭（熊本大学）
- ④インターネットを活用した大学生の選挙に関する実践
江島 徹郎（愛知教育大学）・梅田 恭子（愛知教育大学）
野崎 浩成（愛知教育大学）
- ⑤『対話』『交流』を通して主体的に情報と向き合う－帯単元『防災・減災について考える』－
植田 恭子（大阪市立昭和中学校）
- ⑥ デジタル時代のNIE－朝日新聞デジタル for schoolを活用して－
二田 貴広（奈良女子大学附属中等教育学校）
- ⑦ 故郷・飯山に愛着をもち、魅力を県内外に発信する新聞活用
柿沼 佑樹（長野県飯山市立秋津小学校）

【展示及びNIEワークショップ】 敬愛ホール（1階）

協賛企業・団体の資料展示や教材配布及びワークショップを行います。

詳細は、大会ホームページに10月末に案内します。また、大会当日の「発表要旨集録」に記載します。

NIE初心者にも好評なアイディア等を展示・デモンストレーションします。

5 大会への参加方法（事前の振込が大会参加の申し込みになります）

大会の参加申し込みは、大会ホームページから行う方法と近畿日本ツーリスト名古屋教育旅行支店に申し込む方法の2つです。次の手順に沿って申し込んでください。できる限りホームページからの申し込みをお願いします。

なお、いずれの場合も、参加費等の事前振り込みが行われて申し込みが完了します。念のため、振り込みの控えは、大会終了時まで紛失されないようご注意ください。

●参加申し込み手順1：10月23日（水）までに学会参加を申し込む

1) ホームページから申し込む場合

大会のホームページ「日本NIE学会第10回愛知大会」にある申し込み欄に必要な事項を入力して下さい。詳しくは、ホームページでご確認下さい。

ホームページのアドレスは、<http://sycc.aichi-edu.ac.jp/nie/>です。

なお、学会のホームページにも大会ホームページへのリンクがあります。

2) 近畿日本ツーリスト名古屋教育旅行支店から申し込む場合

最終頁の「日本NIE学会第10回愛知大会参加申込書」に必要な事項をご記入のうえ、近畿日本ツーリスト名古屋教育旅行支店「日本NIE学会第10回愛知大会」にファックスして下さい。ファックス番号は、052-561-4489です。

●参加申し込み手順2：10月23日（水）までに参加費等を振り込む

大会ホームページから申し込まれた場合も近畿日本ツーリストから申し込まれた場合も次のいずれかの銀行口座に参加費等を振り込んで下さい。振り込みの締め切り日は、参加申し込みの締め切り日と同じ10月23日（水）です。

【振込先】①三菱東京UFJ銀行 千代田支店 普通2567374

口座名：近畿日本ツーリスト株式会社

②ゆうちょ銀行 口座記号番号 00840-0-68446

加入者名：近畿日本ツーリスト株式会社名古屋教育旅行支店

〈恐縮ですが、振込手数料はお客様ご負担となります〉

●当日参加について

当日参加の場合、参加費は3,000円です。当日の受付での混雑を避けるため、当日の参加申し込みや現金支払いが少なくなるよう事前申し込み・事前振り込みをお願いします。

6 その他

○宿泊については、近畿日本ツーリスト名古屋教育旅行支店が承ります。名古屋ガーデンパレスホテルです。

問い合わせ先：近畿日本ツーリスト名古屋教育旅行支店「日本NIE学会第10回愛知大会」

担当：加藤 淳・加藤 行乃・尾藤（営業日：月～金 9：15～18：00）

メールアドレス：nagoya-kyoiku@or.knt.co.jp

電話番号：052-561-7871 Fax：052-561-4489

○大会終了後、「徳川美術館・徳川園見学会(昼食付)」を行います。

徳川美術館宝善亭にて昼食後、「国宝 源氏物語絵巻」（期間限定展示）を鑑賞し、名園徳川園を散策します。その後名古屋駅までお送りいたします（16：30着）。名古屋駅への途中、名古屋ガーデンパレスホテル、産業技術記念館、ノリタケの森での途中下車も可能です。お一人 4,000円です（入場料・昼食・交通費込）。通常見ることができない「源氏物語絵巻」（12世紀）の原本を鑑賞できます。

7 大会事務局

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学

日本NIE学会第10回愛知大会実行委員会事務局 土屋 武志

E-mail: nie@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

○上記大会事務局は、学会事務局とは異なります。ご注意ください。

○ラウンドテーブルやワークショップの詳細は、10月末に大会ホームページで紹介します。

○当日は、会場に十分な駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい。

●大会参加申し込みは、10月23日までに大会ホームページからお願いします。

●日本NIE学会第10回愛知大会ホームページ <http://sycc.aichi-edu.ac.jp/nie/>

●ホームページからのお申し込みができない場合は、最終頁の申込書により、近畿日本ツーリスト名古屋教育旅行支店「日本NIE学会第10回愛知大会」宛にファックスで申し込んで下さい。

FAX 052-561-4489

●なお参加費等の合計金額を10月23日までに早めにお振り込み下さい。

[交通アクセス]

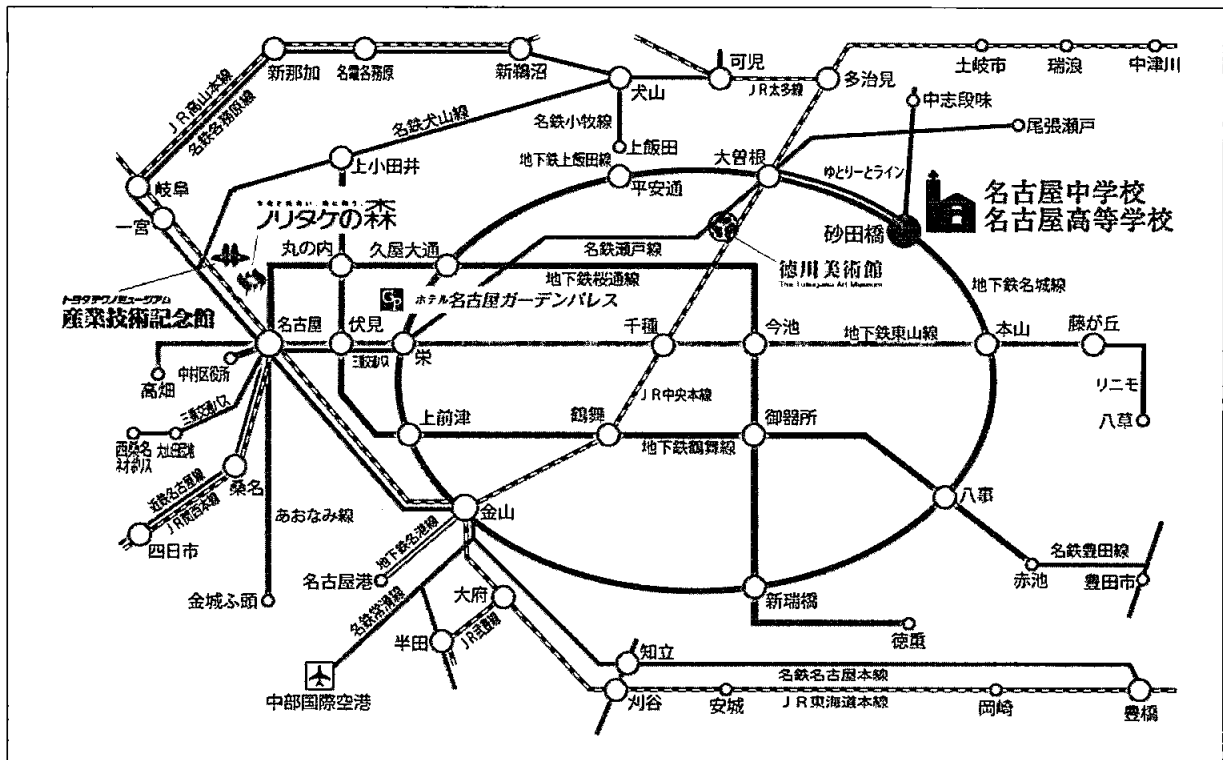
学校法人名古屋学院・名古屋中学校・高等学校

▶ **名古屋市営地下鉄名城線「砂田橋」駅 3番出口すぐ**

[主要駅から砂田橋駅へのルート]

- JR名古屋駅から名古屋市営地下鉄桜通線（徳重行）、久屋大通駅にて名城線（右回り）に乗換え
 - JR名古屋駅から名古屋市営地下鉄東山線（藤が丘行）、栄駅にて名城線（右回り）に乗換え
 - JR・名古屋鉄道金山駅から名古屋市営地下鉄名城線（右回り）
 - 中部国際空港から名古屋鉄道常滑線（岐阜行）、金山駅にて名城線（右回り）に乗換え
- ・ 名古屋駅・金山駅からは約25分、中部国際空港駅からは約60分です。
- ・ 金山駅からは、名城線左回りでも時間的には+5分程度です。
- ・ 乗り換えルートはこの他にもあります。インターネットなどご活用下さい（下図参照）。

JRの場合、金山駅（東海道線・中央線）や大曽根駅（中央線）での名城線への乗り換えも便利です。



日本NIE学会第10回愛知大会 参加申込書

第10回愛知大会に参加します。(参加費 2,500円)

1 申込日 _____ 月 _____ 日

2 (ふりがな)
ご氏名 _____

3 ご住所 (〒 _____ - _____)

4 連絡先電話番号 _____

5 連絡先メールアドレス _____

6 懇親会参加 (会費 5,000円) (いずれかに○印) 参加します ・ 参加しません

7 名古屋ガーデンパレスホテル宿泊 (11月23日 1泊 8,500円 税・サ込)
(いずれかに○印) 申し込みます ・ 申し込みません

8 徳川美術館・徳川園見学会 (昼食付) 参加のご希望 (会費 4,000円)
(いずれかに○印) 参加します ・ 参加しません

9 ラウンドテーブルセッションの希望テーブル (参加を希望されるテーブル1つに○印)

①震災をめぐる教育と報道 ②小学校 ③中学校 ④高校 ⑤国語科

⑥社会科 ⑦総合・生活科 ⑧ICTとNIE ⑨新聞とESD